

# 平成27年度群馬県立図書館サービスに対する評価

評価指標として設定した10項目のうち、5項目について目標値を上回った。

『県内図書館等に対する支援の充実』の「学習支援図書貸出冊数」、「図書館等職員研修参加人数」、「群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存」の「郷土資料受入冊数」、「デジタルライブラリーへのアクセス件数」、「情報発信の充実」の「メディア掲載件数」の5項目が目標を達成した。これは県立図書館の役割をふまえ、学校支援図書貸出冊数については学校側が利用しやすい資料構成にしたこと、研修会については実務に適した研修内容の企画などに取り組んだことが、結果に結びついたものである。また、デジタルライブラリーについては検索方法の改良を行ったことなどが成果として表れている。「メディア掲載件数」が目標を上回ったのは、今まで以上にマスコミへの情報提供を積極的に行ったことが数字に表れてきていると考えられる。

目 標	評 価 指 標	目 標 値	実 績	達成状況	自己評価	摘 要
高度な専門的 情報サービス の提供	調査相談件数	4,620	4,170	90%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス資料と郷土資料の新着コーナーを設置して収集資料を周知した。</li> <li>レファレンス記録を丁寧に作成し、レファレンス事例集として県内図書館職員が共有できるようインターネットで公開した。</li> <li>国立国会図書館が提供する「国立国会図書館サーチ」や「レファレンス共同データベース」などのサービスを積極的に活用し、高度なレファレンスへの回答に努めた。</li> <li>ホームページを改訂し、レファレンスの意義や機能について県民への周知に努めた。</li> </ul>
	レファレンス資料 受入冊数	750	713	95%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書・事典、統計書、白書、年報、図鑑等、レファレンス資料の重点的な購入を行った。</li> <li>県民の情報ニーズに対応し、より高度で専門的な情報サービスを提供できるよう、引き続き資料収集に努めていきたい。</li> </ul>
図書館ネット ワークの 充実強化	相互貸借冊・点数	14,500	12,900	89%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸借依頼への迅速な対応で利便性を高めるとともに、相互貸借担当者会議や学校図書館関係者実務研修会等で事業の周知を図ることにより、公立図書館だけでなく高等学校からの依頼も増加している。</li> <li>県外図書館からの依頼も、丁寧な対応により利用が増加している。</li> </ul>
	横断検索システムの 検索件数	242,000	230,307	95%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムの周知、利用促進のため、県内図書館員に対し、操作説明会を行った(平成27年度相互貸借担当者会議内にて実施)</li> <li>システム未使用の相互貸借参加館に積極的に周知を行い、参加館(検索のみ)が新規に3館増加した。</li> <li>今後もシステムの充実を図るとともに、県民への周知を図っていきたい。</li> </ul>
県内図書館 等に対する 支援の充実	学習支援図書貸出冊数	5,800	6,562	113%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>セット内容を、学校が利用しやすい資料構成に随時調整するほか、1回当たりの貸出セット数を、授業に合わせて自由に4セット組み合わせることができるよう変更した。</li> <li>貸出、返却に協力車が使えることを研修会等で周知することで、新規の利用が増加している。</li> </ul>
	図書館等職員研修 参加人数	300	405	135%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>司書実務研修会では、前年度のアンケートを参考にテーマを決めたり、研修テーマごとに参加希望を募るなど研修参加への工夫を行った。さらに、学校関係者へも研修参加を呼びかけた。</li> <li>学校図書館関係者実務研修会では、前年度の研修会後のアンケートを参考にテーマや講師を工夫し、参加者の増加につなげている。</li> </ul>
群馬県に関 する資料・ 情報の網羅 的収集と保 存	郷土資料受入冊数	2,000	2,227	111%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞等を通じて郷土資料の出版情報をつかみ、個別に寄贈依頼を行って収集に努めた。</li> <li>県内公共機関等に対して、郷土資料の寄贈について依頼を行った。</li> <li>耐震化工事の休館で、受入れ作業のためのまとまった時間がとれ、整理が滞っていた資料を受け入れることができた。</li> </ul>
	デジタルライブラリーへの アクセス件数	21,000	22,482	107%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルライブラリーに「荒船風穴関連資料」など、新たに198点を追加した。</li> <li>「県内図書館横断検索」から検索可能にするなど、利便性の向上に努めた。</li> <li>「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録から一年が経過し、昨年度のような利用の急増は落ち着くと予想していたが、多くのアクセスを得ることができ、現在も利用者の関心が寄せられていることを実感した。</li> <li>今年度で掲載資料数が560点を超えた。著作権保護満了が確認できるデジタル化可能な資料が少なくなってきたため、次年度以降は県内の市町村図書館の貴重書等も対象にするなど、新たなデジタル化の方策を検討したい。</li> </ul>
情報発信の 充実	ホームページ更新件数	240	208	87%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページについて検討する場を定期的に設け、改善を行った。</li> <li>事業実施報告、新着資料案内等の情報提供機会を増やすなど積極的な情報発信を心がけ、ホームページ内容の充実を図った。</li> <li>今後もより利便性の高いホームページを目指し、コンテンツの充実を努めていきたい。</li> </ul>
	メディア掲載件数	66	73	111%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館大会や、時宜にかなうテーマに沿った資料の展示等の他、図書館を活用した授業の進め方等をサポートする「図書館学習支援隊」や、子どもの読書活動推進を図る「ビブリオバトル」といった新しい取り組みの情報を報道機関へ提供し、取り上げてもらうことができた。</li> <li>群馬県ホームページや生涯学習センターホームページを積極的に活用し、情報発信の機会を増やした。</li> <li>引き続き、図書館に対する関心を高めるため、情報発信を積極的に行いたい。</li> </ul>

## 評価基準

評価	評価内容	評価の目安
A	数値目標を達成し、期待する成果があった。	100%以上
B	数値目標をほぼ達成し、一定の成果があった。	80%以上100%未満
C	数値目標が達成できず、成果が不十分であった。	80%未満

## 参考

項目	H25	H26	H27
入館者数	302,228	272,653	185,637
県立図書館HPアクセス数	346,789	436,311	462,656
個人貸出冊数	411,804	366,141	234,838